

困窮、育児を難しく

乳幼児対象 県、子ども実態調査

子の小学校入学を控えてランドセルを購入できるか不安を募らせた。子育ての悩みを相談できる相手がおらずに孤立感を深めたり…。1歳、5歳の子どもを持つ保護者を対象に県が実施した未就学児調査では、目が離せない乳幼児を抱えながら、仕事に育児にと奮闘する困窮

働きたいが預けられず

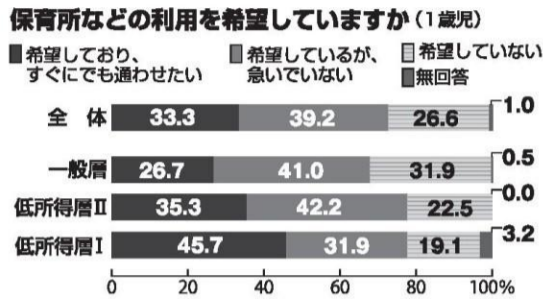
保育所などの施設に通っていない1歳は全体で23・3%。この数は所得が下がるほど増えて低所得層Iでは25・8%、この層のふたり親世帯ではさらに増えて28・6%となった。認可保育所の利用は1歳全体の52・9%に対し、ふたり親世帯の低所得層Iの世帯は46・1%に下がった。

保育所

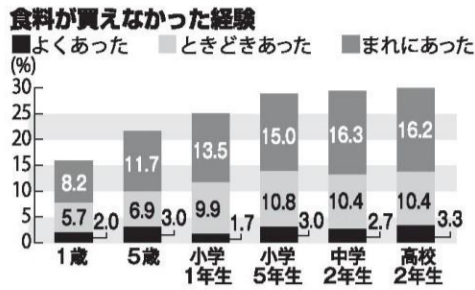
「通っていない」とする親のうち「すぐにでも通わせたい」人は一般層の26・7%に対し低所得層IIは35・3%、低所得層Iは45・7%で、低所得になるほどニーズは高い。1歳の母親のうち低所得層Iの48・6%、同IIは48・0%が働いていない理由として「子どもの預け先がない」としており、一般層の27・2%と差が開いた。低所得層は保育サービスを利用できず、働きたても働けない人が

低所得層でニーズ高く

多いことが浮かび上がった。「分析した山野良一沖縄大学教授によると、低所得層はパートなど非正規労働に就く親が多く、労働時間が短いため、正規労働者よりも入所できる点数が下がって入所できていない可能性がある」と語る。また「待機児童が多いのに、どうせ入れない」と諦めて申し込んでいない人もいるという。ひとり親は優先順が上がらるため、入所率は上がる。



ジャングルジムで遊ぶ子どもたち (写真と本文は関係ありません)



食費不足

1歳の親、16%が経験

過去1年間に食費が足りなくて必要な食料が買えない経験があったかどうかの質問で、「よくあった」ときどきあった「まれにあった」との回答は1歳で計15・9%、5歳で計21・6%だった。低所得層Iでは買えなかった経験があるとした人は1歳が38・2%、5歳が42・1%だった。

子の成長に伴い上昇

低所得層Iでは、ライフラインの支払いすら苦勞する様子も垣間見える。過去1年間の滞納経験を尋ねたところ、電気代やガス料金の滞納があったのは1歳で26・6%、5歳で32・1%だった。カードや借金の支払いの滞納経験は、どちらも3割を超えた。

「医療費、完全無料化を」／「保育料値上げ、苦しい」

保護者の声

【医療面】「手持ちのお金がないと受診できないので、医療費は窓口で支払うのではなく完全無料化にしてほしい」(1歳児親)

「医療費は1カ月の家計の計算に入れないので、急な出費があるに焦る。子どもには『お金がないから風邪ひくな』と言ってしまう。本当は『大丈夫?』と言いたいのに」(5歳児親)

【多子世帯への支援】「多子世帯への援助制度を見直してほしい。子どもの数、持ち家が借家か、頼れる身内の有無などで生活状況は全く違う。収入だけで決めるのはどうかと思」(5歳児親)

【待機児童】「職場復帰のため4月から保育園に入れたが、入れるか不安でいっぱい」(1歳児親)

「公務員など自営業の認可保育園に入所できる点数の差別を改善してほしい」(1歳児親)

【病児の保育】「共働きで、子どもが病気になるたびに、頼める人がいない。病児保育でも、やはり物(感染症)で隔離できないと断られると本当に大変」(1歳児親)

【認可外保育について】「認可外の保育料が上がって家計が苦しい」(1歳児親)

【教育費・保育料など】「第2子、第3子以上の保育料減額を学童利用時にも対象に入れてほしい」(1歳児親)

【育休期間の保育】「第2子を出産し父親が育休を取ったが、第1子は認可保育園入園の対象外となり新規申し込みができなかった。父親の育休を推進する一方で『誰かが在

家計切迫、孤立…苦しき切々

宅なら保育できる」という理由で認可保育園の対象外とするのは矛盾している」(1歳児親)

【情報不足・相談場所】「役所に問い合わせるなど、相談していくこともある。年に1回4月に、制度・サービス・福祉に関する冊子などが各家庭に配布されどありがたい」(5歳児親)

【働き方・給与など】「両親の介護で仕事を辞めることになり家計が苦しい。男性1人の給料では、やっていけないため共働き(フルタイム)にする。女性だけ育児も加わり負担が多過ぎる」(5歳児親)

「税金や物価は上がっているのに、給料が上がらずに困っている」(1歳児親)

「夫は帰りが遅く、平日子どもと遊ぶ時間が少ない。子育て支援もありがたいが、働き方改革もお願いしたい」(5歳児親)

「観光の仕事で、土日も働かながら子育てで大変。手当があるわけでも保育料が空いているわけでもない」(1歳児親)

「主人の仕事がサービス業で土日の休みがほとんどなく子どもとの時間が取れない。深夜帰宅がほとんどで、育児もワンオペ(1人で担う)。正直しんどい」(5歳児親)

【遊ぶ場所・子どもの居場所】「身内に頼れる人がいない。放課後、安心して過ごせる場所を小学校の隣などに造ってほしい」(5歳児親)

【その他】「着なくなった服を役所や支援センターなどで10円程度で売買したらどうか」(1歳児親)

「本当にゆとりがない人はこのようなアンケートにも答えられない状態ではないのではと感じた」(1歳児親)